

Kaga Electronics Group Report



宮坂 健《惑星の記憶》

第46期 グループ報告書

平成25年4月1日 - 平成26年3月31日

人、未来、エレクトロニクス…
 **加賀電子株式会社**

東証一部：証券コード 8154

株主の皆様へ

新本社ビルへの移転、新体制のスタート。
株主の皆様のご期待に応えるよう取り組んでまいります。

【経営理念】すべてはお客様のために

■加賀電子グループの行動指針

F.Y.T.
[ファイト]

Flexibility
Young
Try

柔軟性を持って
心の若さを持って
絶えず挑戦

3G

General あらゆるものを
Global 全世界で
Group 総合力を活かして

写真左から

代表取締役副会長
代表取締役会長
代表取締役社長

塚本 外茂久
塚本 勲
門 良一

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第46期の業績をご報告申し上げるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

この度、平成26年4月1日より新体制にて新たなスタートを切ることいたしました。新体制では前代表取締役社長の塚本外茂久が代表取締役副会長に、前取締役副社長の門良一が新代表取締役社長に就任し、経営基盤の一層の強化、充実を図ってまいります。

速いスピードで進化し、ビジネスの多様化が急激に進むエレクトロニクスの世界において、新体制でも引き続き、加賀電子グループの行動指針である「F.Y.T.」と「3G」の精神で、時代の変化をいち早く読み取りながら、世界を舞台に新しいビジネスに挑戦し、事業の拡大を図ってまいります。

今後とも株主の皆様にご満足いただける企業を目指してまいりますので、何卒、倍旧のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

〈加賀電子グループ全体の事業報告と今後について、塚本勲会長、塚本外茂久副会長、門良一社長に話を聞きました。〉

Q 当期(第46期)の業績についてご報告ください。

A 業績不振子会社の改善と海外のEMS事業や注力してきた成長分野などが好調で、前期を上回る結果を残すことができました。

副会長／当期のエレクトロニクス業界はスマートフォンやタブレット端末などの高機能携帯端末市場や車載機器市場が好調に推移しました。中間期には厳しい状況だったコンシューマ向けのデジタル家電市場やパソコンなどの情報機器市場も年度末の消費税増税による駆け込み需要などにより一部持ち直しの動きが見られました。また、長い間低迷していた産業機器市場もようやく回復の動きが見られました。このような環境のなかで、連結業績は、売上高257,852百万円（前期比19.2%増）、営業利益5,106百万円（前期比305.2%増）、経常利益5,847百万円（前期比202.8%増）、そして、当期純利益3,877百万円（前期比771.8%増）と、おかげさまで前年に比べ増収増益となりました。その要因として、最重要課題



として取り組んできた業績不振子会社の改善があげられます。各社ごとに経営体制の見直しや合併、清算など、必要な手を確実に打ち、再建に努めたことで各社の業績が大きく改善するに至りました。さらに、成長分野として注力してきました「車載」「無線・通信」「環境関連」分野においての売上高の増加や海外におけるEMSビジネスが非常に好調に推移いたしました。

社長／セグメント別では、「電子部品事業」は車載や通信機器向け電子部品・半導体などの売上高増加に加え、EMSビジネスの需要が大幅に伸びました。「情報機器事業」は、需要の減少で苦戦していたコンシューマ向けのパソコンや周辺機器が冒頭に申し上げたとおり、消費税増税の駆け込み需要などで売上高に回復の動きが見られました。「ソフトウェア事業」につきましては、アニメーションのCG制作とコンシューマ向けやアミューズメント向けソフトウェアの販売が好調でした。

■業績概要

(単位:百万円)

	2013年3月期実績	2014年3月期実績
売上高▶	216,405	257,852
営業利益▶	1,260	5,106
経常利益▶	1,931	5,847
当期純利益▶	444	3,877

当期は前期に比べ、売上高、利益ともに大幅に改善されましたが、この結果に満足することなく、さらなる業績の向上を目指していきます。

Q 当期の主な取り組みと成果についてお聞かせください。

A **加賀デバイス㈱とエー・ディ・エム㈱の合併によるシナジー効果が出はじめてきたこと、そして、従来より注力してきた成長分野が確実にビジネスに結びついてきていることです。**

会長／平成25年10月1日、加賀デバイス㈱とエー・ディ・エム㈱が合併し、新生加賀デバイス㈱としてスタートしました。双方の顧客へお互いの豊富な商材を販売することでビジネスチャンスの拡大が見込めるなどの理由から合併し、わずか半年ほどで新しいビジネスが立ち上がるなど、早くもシナジー効果が出はじめてきています。苦戦していたエー・ディ・エム㈱の業

績は合併後、事業が黒字転換しました。また、類似業種の統合ということで販売管理費が減少し、体質改善にも繋がっており、今後もシナジー効果が発揮されていくものと期待しているところです。

副会長／次に、注力してきました分野ですが、「環境関連」は、当期、特にLED照明の取引が伸び、コンビニをはじめ駐車場や大型紳士服店など、新しいお客様からご成約をいただきました。太陽光発電システムについては、メガソーラーなど大型案件の引き合いを数多くいただき、受注に結びついてきています。

「無線・通信」は、通信モジュールを使い3G回線で無線通信を行うシステムを構築し、多くのお客様から受注をいただきました。また、当社グループが開発した通信モジュール製品も大変ご好評をいただき、採用に結びついています。

「車載」分野では引き続き、カメラモジュールが大変好調です。この他、安全性を高めるための様々なセンサーの搭載も加速しています。最近では車載の他に、人の動きに反応する人感センサーが空調機器などに搭載されるようになっており、今後、ますますセンサーの需要が高まることが予想されます。

会長／当社グループはこれまで、部品の調達から最先端の技術力を駆使した物作り、販売まであらゆることができる体制を整え、たくさんの引き合いをいただきながら、事業を拡大してきました。これらの成長分野においても部品の調達のみならず、お客様に企画提案して採用に至ったケースやお客様のご要望にお応えし商品となったものがあり、今後も引き続き、成長分野の一層の事業拡大を目指し、積極的な営業活動に努めていきます。



副会長／次に海外展開ですが、日系企業だけでなく、現地企業への営業活動を強化しており、中国においては成約に繋がるケースも増え、成果が上がりはじめています。インド、インドネシア、フィリピンは日系企業を中心に商談が増えておりますが、今後は中国同様に地元企業の開拓や取引を重点課題として取り組んでいきます。来期、インドネシアでのEMSビジネスの拠点新設に向け準備をしており、好調だった海外についてのEMS事業のさらなる成長に備えていきます。

Q 株主様へメッセージをお願いします。

A 実力のある企業を目指して邁進していきます。

会長／創業の地でもある秋葉原に自社ビルを建設しておりましたが、昨年11月に竣工し、本年3月より新本社として業務をスタートしております。創業以来、資産を持たないことをポリシーとして、自社ビルを持たずにいましたが、年間数億円の経費削減に繋がることがわかり、自社ビル建設を決断しました。経費削減とともに社員の就業意欲も向上している様子で、この選択が今後のグループの拡大に貢献してくれるものと期待しているところです。

社長／来期も引き続き、今後も拡大が予想される車載、無線・通信、環境、海外ビジネス、加えて、産業機器、医療の分野にも注力していきます。同時に、当社グループが成長する過程で蓄積してきた無駄なものを落とし、実力のある企業体質を目指していきたいと考えておりま



す。また、株主の皆様の日頃のご支援に報いるため、新本社ビル竣工記念としまして、5円の記念配当を実施いたしました。新しい環境で新組織体制となりました当社グループを引き続きご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成26年6月

新社長就任のご挨拶

新本社ビルへ移転の記念すべき年に代表取締役社長に就任いたしました。これまで以上に多くのお客様のご期待にお応えしていきたいと決意を新たにしているとともに、その重責に身が引き締まる思いでございます。加賀電子グループのさらなる発展を目指していく所存でありますので、株主の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長 門 良一(かど りょういち)



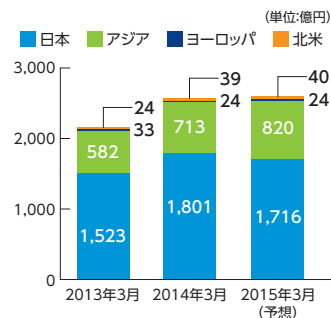
特集 加賀電子グループの海外展開

近年、エレクトロニクス商社の活躍の場が海外にシフトしているなか、加賀電子グループにおきましても、海外市場でのビジネス拡大を経営の重要テーマと考えアジア地域を中心に販売網の拡充を進めています。海外15カ国に拠点を設置し、電子部品・半導体などの調達からEMSまでワールドワイドに活動を展開しています。

加賀電子グループの海外戦略

- ・ 東アジア、東南アジアの拠点強化
- ・ 日系企業の海外進出に合わせた拠点の拡充
- ・ ローカル企業との取引拡大

地域別売上高の推移



加賀電子科技(蘇州)工場



加賀山電子(蘇州)工場



港加賀電子(深圳)工場



アメリカ KAGA ELECTRONICS (USA)



KAGA (EUROPE) ELECTRONICS



KD TEC (チェコ) 工場



KAGA (H.K.)

中国
大連、青島(中国内陸への進出拠点)
深圳、上海、蘇州、東莞、湖北
EMS拠点

韓国

香港

台湾

フィリピン

シンガポール

インドネシア

EMS拠点

インド

マレーシア
EMS拠点

タイ
EMS拠点



KAGA ELECTRONICS (THAILAND)
アマタナコン工場

ブラジル(進出検討中)

- 電子部品・半導体販売拠点
- EMS拠点(生産・製造拠点)

加賀電子グループは、エレクトロニクス総合商社として、
つねにあらゆる可能性にチャレンジしてきました。
当期におけるF.Y.T.精神に基づく様々な取り組みをご紹介します。

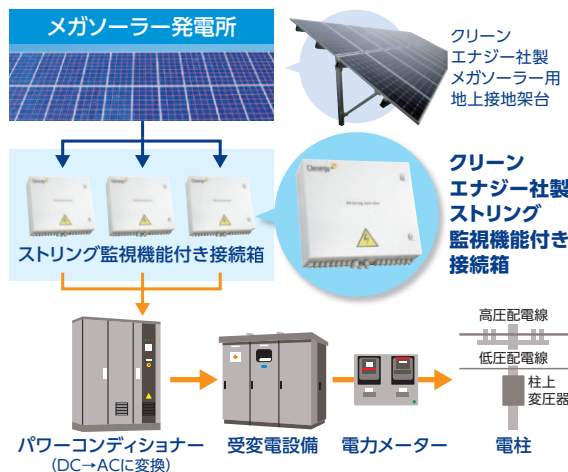
●ファイト・スピリッツ #01

加賀デバイス、太陽光発電（メガソーラー） 遠隔監視サービス事業に参入

加賀デバイス㈱は、平成26年4月より太陽光発電システム向け接続箱、クラウド監視サービスの提供を開始しました。太陽光パネルの発電量や状態を通信回線で使用することにより遠隔監視できる「専用装置」の販売と「監視サービスの提供」を行います。

同サービスは、クリーンエナジー社製のストリング監視機能付き接続箱を設置することで、ストリング、パワーコンディショナー、電力メーターの各情報を遠隔監視するとともに、格安のコストの実現が可能となります。加賀電子グループが現在注力している通信分野と環境分野を取り入れたこの新規事業により、大型案件の獲得を目指します。

●太陽光発電（メガソーラー）遠隔監視システムイメージ



●ファイト・スピリッツ #02

加賀電子、平成26年3月に本社移転

加賀電子㈱は、創業の地である秋葉原に竣工した新本社ビルと八丁堀に賃貸している本社別館に平成26年3月より移転いたしました。今回の移転を機にグループ会社間の連携を強化し、シナジー効果の向上を図り、さらなる事業の拡大を目指してまいります。



●ファイト・スピリッツ #03

加賀電子㈱所属 一ノ瀬優希プロ LPGAツアー3勝目！

加賀電子㈱所属の女子プロゴルファーの一ノ瀬優希プロが、2014年LPGAツアー第2戦『ヨコハマタイヤ・プロギアレディース』に優勝、ツアー通算2勝目を挙げ、また、第9戦「サイバーエージェント レディスゴルフトーナメント」でも優勝し、ツアー通算3勝目を飾りました。

加賀電子グループはこれからも一ノ瀬優希プロを応援してまいります。

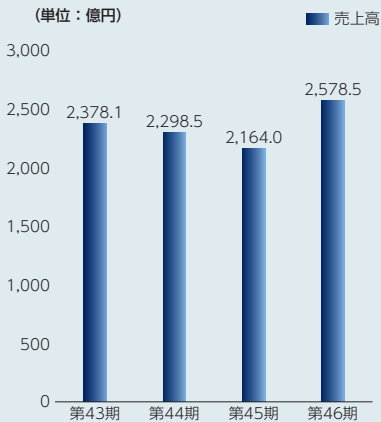


連結売上高 **257,852**百万円
(前期比19.2%増)

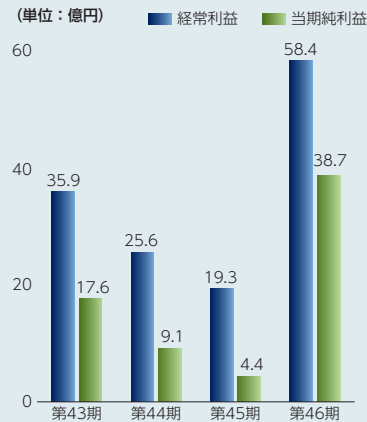
連結経常利益 **5,847**百万円
(前期比202.8%増)

連結当期純利益 **3,877**百万円
(前期比771.8%増)

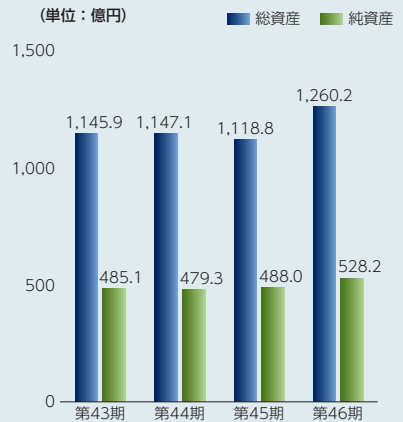
連結売上高



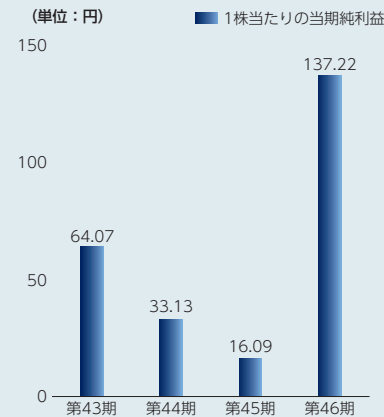
連結経常利益／連結当期純利益



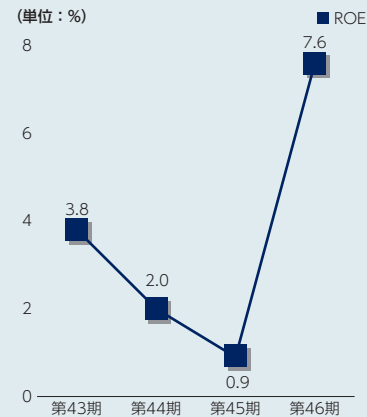
連結総資産／連結純資産



1株当たりの連結当期純利益

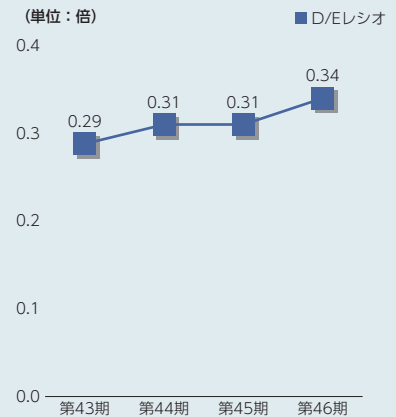


ROE



ROE(自己資本利益率)は、株主の皆様への投資を活用した結果どのくらい利益を得たのかを示す指標です。
ROE(%)=当期純利益÷自己資本×100

D/Eレシオ



D/Eレシオ(Debt Equity ratio)は、有利子負債と自己資本の比で、長期の支払い能力を示す指標です。
D/Eレシオ(倍)=有利子負債÷自己資本

連結損益及び包括利益計算書			(単位：百万円)
科 目	当 期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	前 期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
売上高	257,852	216,405	
売上原価	225,330	188,943	
売上総利益	32,522	27,462	
販売費及び一般管理費	27,416	26,202	
営業利益	5,106	1,260	
営業外収益	1,025	955	
受取利息	68	49	
受取配当金	79	71	
受取手数料	219	212	
負ののれん償却額	29	112	
為替差益	255	81	
受取家賃	121	107	
その他	251	320	
営業外費用	284	284	
支払利息	132	135	
投資事業組合運用損	80	79	
その他	71	69	
経常利益	5,847	1,931	
特別利益	619	1,058	
固定資産売却益	613	39	
投資有価証券売却益	5	86	
負ののれん発生益	—	522	
関係会社株式売却益	—	6	
受取保険金	—	385	
その他	—	18	
特別損失	807	555	
固定資産除却損	28	25	
投資有価証券評価損	46	72	
減損損失	177	152	
関係会社整理損	67	—	
事務所移転費用	412	—	
訴訟和解金	—	80	
事業構造改善費用	—	55	
特別退職金	—	166	
その他	74	2	
税金等調整前当期純利益	5,659	2,434	
法人税、住民税及び事業税	2,220	1,594	
法人税等調整額	△447	559	
法人税等合計	1,772	2,154	
少数株主損益調整前当期純利益	3,887	279	
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△164	
当期純利益	3,877	444	
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△164	
少数株主損益調整前当期純利益	3,887	279	
その他の包括利益	—	—	
その他有価証券評価差額金	341	478	
繰延ヘッジ損益	6	18	
為替換算調整勘定	1,054	1,604	
その他の包括利益合計	1,403	2,101	
包括利益	5,290	2,381	
(内訳)	—	—	
親会社株主に係る包括利益	5,283	2,547	
少数株主に係る包括利益	7	△166	

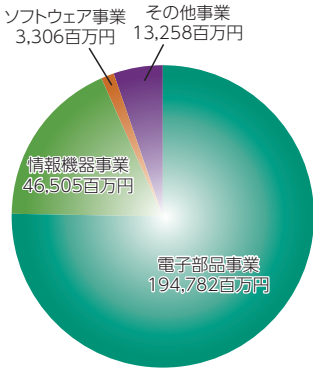
(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

当期業績の概要

当社グループは、グループ全体の連携を強化し、既存大手顧客への拡販や新規顧客および新商材の開拓などに努める一方、業績不振子会社の合併および清算などによる不採算事業の見直しや経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度における売上高は257,852百万円（前期比19.2%増）、営業利益は5,106百万円（前期比305.2%増）、経常利益は5,847百万円（前期比202.8%増）となりました。また、当期純利益は遊休資産の売却などにより3,877百万円（前期比771.8%増）となりました。

セグメント別売上高



■情報機器事業

高機能携帯端末の普及にともない、コンシューマ向けパソコンなどの需要が低迷いたしました。また、政府の景気対策効果により住宅向け関連建材や環境関連商品の販売も好調に推移しました。その結果、売上高は46,505百万円（前期比21.4%増）となり、セグメント利益は866百万円（前期はセグメント損失836百万円）となりました。

■ソフトウェア事業

アニメーションのCG制作や電子玩具の開発、製造などに注力したことに加え、業績不振子会社の解散決議など事業再編にも取り組んでまいりました。その結果、売上高は3,306百万円（前期比15.0%増）となり、セグメント利益は79百万円（前期はセグメント損失61百万円）となりました。

■その他事業

国内のアミューズメント施設向けゲーム機等の製造および販売やゴルフ用品販売事業などが好調に推移しました。その結果、売上高は13,258百万円（前期比19.9%増）となり、セグメント利益は410百万円（前期比160.6%増）となりました。

■電子部品事業

国内におきましては、通信機器や車載向けなどの電子部品や半導体の販売が好調に推移したことに加え、電子機器やアミューズメント機器向けEMSなどが伸長しました。海外におきましては、電子機器向けEMSの需要が順調に伸びました。その結果、売上高は194,782百万円（前期比18.7%増）となり、セグメント利益は3,805百万円（前期比86.5%増）となりました。

財務諸表（連結）

連結貸借対照表						(単位：百万円)	
科 目	当 期 (平成26年3月31日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成26年3月31日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)		
資産の部			負債の部				
流動資産	102,930	89,945	流動負債	63,410	53,355		
現金及び預金	14,192	12,258	支払手形及び買掛金	41,695	37,423		
受取手形及び売掛金	60,667	54,580	短期借入金	12,172	9,567		
有価証券	114	111	未払費用	3,133	2,683		
商品及び製品	16,378	14,075	未払法人税等	1,525	1,055		
仕掛品	848	637	役員賞与引当金	174	74		
原材料及び貯蔵品	3,991	4,065	その他	4,708	2,551		
繰延税金資産	993	482	固定負債	9,792	9,726		
その他	5,836	3,823	長期借入金	4,681	5,121		
貸倒引当金	△93	△90	繰延税金負債	686	559		
固定資産	23,098	21,943	退職給付引当金	－	1,643		
有形固定資産	12,625	10,559	役員退職慰労引当金	1,437	1,398		
建物及び構築物（純額）	5,737	3,126	退職給付に係る負債	1,954	－		
機械装置及び運搬具（純額）	1,711	1,714	資産除去債務	123	227		
工具、器具及び備品（純額）	1,004	805	その他	909	775		
土地	4,038	4,305	負債合計	73,202	63,082		
建設仮勘定	133	606	純資産の部				
無形固定資産	1,533	2,226	株主資本	52,923	49,895		
のれん	715	799	資本金	12,133	12,133		
ソフトウェア	486	435	資本剰余金	13,912	13,912		
その他	332	991	利益剰余金	27,414	24,384		
投資その他の資産	8,938	9,157	自己株式	△536	△535		
投資有価証券	5,377	4,491	その他の包括利益累計額	△137	△1,238		
繰延税金資産	562	472	その他有価証券評価差額金	161	△180		
差入保証金	821	2,100	繰延ヘッジ損益	0	△6		
保険積立金	1,357	1,295	為替換算調整勘定	5	△1,052		
その他	1,836	1,843	退職給付に係る調整累計額	△304	－		
貸倒引当金	△1,017	△1,046	少数株主持分	39	149		
資産合計	126,028	111,888	純資産合計	52,825	48,806		
			負債純資産合計	126,028	111,888		

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

	株主資本					その他の 包括利益 累計額	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成25年4月1日 残高	12,133	13,912	24,384	△535	49,895	△1,238	149	48,806
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△847		△847			△847
当期純利益			3,877		3,877			3,877
自己株式の取得				△1	△1			△1
自己株式の処分			△0	0	0			0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)						1,100	△110	990
連結会計年度中の変動額合計	－	－	3,029	△1	3,028	1,100	△110	4,019
平成26年3月31日 残高	12,133	13,912	27,414	△536	52,923	△137	39	52,825

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	前 期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,334	7,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,339	△4,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,024	△403
現金及び現金同等物に係る換算差額	463	456
現金及び現金同等物の増減額	1,482	2,183
現金及び現金同等物の期首残高	11,878	9,695
現金及び現金同等物の期末残高	13,361	11,878

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

財務諸表（単体）

単体損益計算書（要旨）			（単位：百万円）	
科 目	当 期 (自平成25年4月 1 日 至平成26年3月31日)	前 期 (自平成24年4月 1 日 至平成25年3月31日)		
売上高	94,517	82,754		
売上原価	84,443	73,883		
売上総利益	10,074	8,871		
販売費及び一般管理費	9,958	8,939		
営業利益又は営業損失（△）	115	△68		
営業外収益	2,199	2,760		
営業外費用	162	185		
経常利益	2,152	2,506		
特別利益	207	85		
特別損失	1,175	2,384		
税引前当期純利益	1,184	207		
法人税、住民税及び事業税	357	433		
法人税等調整額	148	△253		
当期純利益	678	27		

（注）記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

単体貸借対照表（要旨）			（単位：百万円）	
科 目	当 期 (平成26年3月31日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)		
資産の部				
流動資産	51,512	51,912		
固定資産	21,636	19,197		
有形固定資産	6,668	4,382		
無形固定資産	278	293		
投資その他の資産	14,689	14,521		
資産合計	73,149	71,109		
負債の部				
流動負債	30,586	28,397		
固定負債	6,906	7,218		
負債合計	37,493	35,615		
純資産の部				
株主資本	35,507	35,678		
資本金	12,133	12,133		
資本剰余金	13,912	13,912		
利益剰余金	9,997	10,167		
自己株式	△536	△535		
評価・換算差額等	148	△183		
その他有価証券評価差額金	148	△175		
繰延ヘッジ損益	0	△8		
純資産合計	35,656	35,494		
負債純資産合計	73,149	71,109		

（注）記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

単体株主資本等変動計算書									
(単位：百万円)									
当期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）									
	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成25年4月1日 残高	12,133	13,912	13,912	618	7,000	2,548	10,167	△535	35,678
事業年度中の変動額									
剰余金の配当						△847	△847		△847
当期純利益						678	678		678
自己株式の取得								△1	△1
自己株式の処分						△0	△0	0	0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）									
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	－	△169	△169	△1	△170
平成26年3月31日 残高	12,133	13,912	13,912	618	7,000	2,379	9,997	△536	35,507

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成25年4月1日 残高	△175	△8	△183	35,494
事業年度中の変動額				
剰余金の配当				△847
当期純利益				678
自己株式の取得				△1
自己株式の処分				0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	324	8	332	332
事業年度中の変動額合計	324	8	332	161
平成26年3月31日 残高	148	0	148	35,656

（注）記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

配当金のお知らせ

当社は、長期的視点に立った財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、連結業績を鑑みながら株主各位に対する安定的かつ継続的な配当の維持を基本方針としております。

期末配当金につきましては、当期の業績を鑑み、1株当たり15円00銭の普通配当金に新本社ビル竣工記念配当金5円00銭を加えた1株当たり20円00銭とさせていただきます、先の間配当金1株当たり15円00銭とあわせ年間35円00銭とさせていただきます。

本 社 TEL. 03-5657-0111

電子事業部

電子事業部	TEL. 03-5657-0121
北関東営業所	TEL. 048-667-3321
北陸営業所	TEL. 076-262-0711
関西営業所	TEL. 06-6105-0430
名古屋営業所	TEL. 052-746-6480
新横浜営業所	TEL. 045-473-7321
浜松営業所	TEL. 053-457-1661
福岡営業所	TEL. 092-282-1140
仙台営業所	TEL. 022-722-7410
京都営業所	TEL. 075-353-4551
新潟営業所	TEL. 0258-38-8351

海外事業部

海外事業部	TEL. 03-5657-0124
-------	-------------------

特販事業部

特販事業部	TEL. 03-5657-0123
-------	-------------------

営業推進事業部

営業推進事業部	TEL. 03-5657-0110
---------	-------------------

特機事業部

特機事業部	TEL. 03-5931-0102
特機第二営業部	TEL. 052-746-6481

EMS事業部

EMS事業部	TEL. 03-5931-0106
--------	-------------------

技術統括部

技術統括部	TEL. 03-5657-0130
-------	-------------------

ICT事業部

ICT事業部	TEL. 03-5657-0128
--------	-------------------

環境事業部

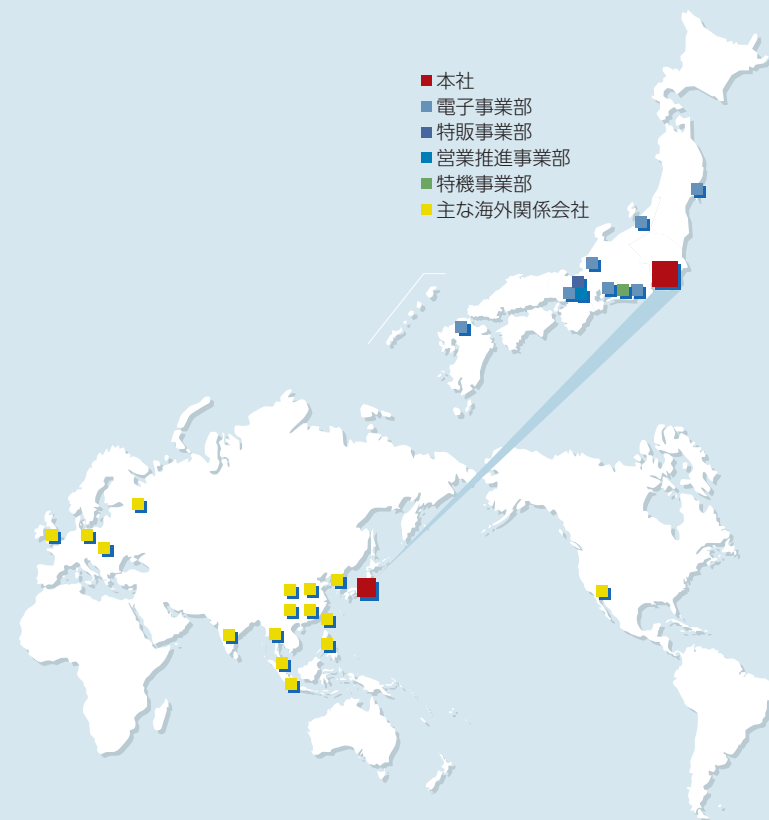
環境事業部	TEL. 03-5657-0129
-------	-------------------

デバイスソリューション部

デバイスソリューション部	TEL. 03-5657-0127
--------------	-------------------

主な国内関係会社

加賀テック(株)	TEL. 03-5657-0140
加賀デバイス(株)	TEL. 03-5657-0144
加賀ソルネット(株)	TEL. 03-5931-0123
加賀コンポーネント(株)	TEL. 03-5931-0160
(株)イー・ディーデバイス	TEL. 03-5657-0141
加賀クリエイト(株)	TEL. 03-5931-0143
マイクロソリューション(株)	TEL. 03-5657-0150
(株)デジタルメディア・ラボ	TEL. 03-5931-0147
加賀スポーツ(株)	TEL. 03-5657-0148
加賀ハイテック(株)	TEL. 03-5931-0111
加賀アミューズメント(株)	TEL. 03-5931-0134
(株)ワークビット	TEL. 046-261-3228
(株)エスアイエレクトロニクス	TEL. 03-5931-0140



主な海外関係会社

KAGA (H.K.) ELECTRONICS LIMITED
KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE LTD
KAGA (KOREA) ELECTRONICS CO.,LTD.
KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO.,LTD.
加賀電子(上海)有限公司
KAGA ELECTRONICS (THAILAND) COMPANY LIMITED

KAGA DEVICES (H.K.) LIMITED
KAGA ELECTRONICS (USA) INC.
加賀電子(大連)有限公司
KAGA (EUROPE) ELECTRONICS LTD.

株式の状況

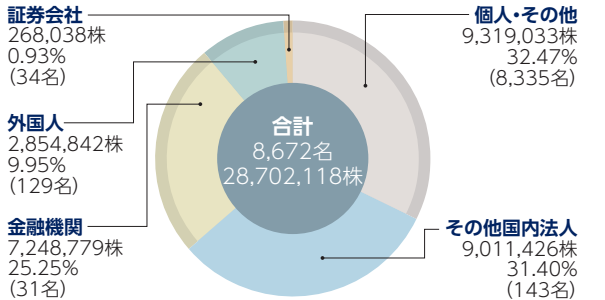
発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式総数 28,702,118株
単元株式数 100株
株主数 8,672名

大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三共	3,824	13.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,779	9.68
株式会社OKOZE	1,740	6.06
加賀電子従業員持株会	1,345	4.69
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,212	4.22
株式会社みずほ銀行	950	3.31
塚本 勲	786	2.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	578	2.01
沖電気工業株式会社	526	1.83
三菱電機株式会社	500	1.74

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて記載しております。
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務によるものであります。

所有者別株式分布状況



会社概要

設 立 昭和43年9月12日
資 本 金 121億3,354万円
従 業 員 数 567名 (男396名・女171名)
平 均 年 齢 38.8歳 (男41.3歳・女33.2歳)
事業の内容 当社は、電子機器用エレクトロニクス部品の企画、開発、製造、仕入販売、コンピュータおよび周辺機器・関連部品・付属品・ソフトウェアなどの仕入販売ならびに輸出入を主な業務とし、これに付帯する業務も営んでおります。

役 員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役会長	塚 本 勲
代表取締役副会長	塚 本 外茂久
代表取締役社長	門 良 一
専 務 取 締 役	下 山 和 一 郎
専 務 取 締 役	高 橋 信 佐
専 務 取 締 役	高 師 幸 男
専 務 取 締 役	筧 新 太 郎
取 締 役	川 村 英 治
常 勤 監 査 役	石 川 正 弘
常 勤 監 査 役	隅 野 起 久 夫
監 査 役	佐 瀬 正 俊
監 査 役	田 中 雄 一 郎

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (通話料無料)
*平成25年3月15日付の当社とイー・ディ・エム
株式会社との株式交換により当社株式を保有され
た株主様のうち、特別口座でご所有の株主様につ
きましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が特別口
座の口座管理機関となっております。

公告方法 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故その他
のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞
(東京)に掲載します。
公告掲載URL <http://www.taxan.co.jp/>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特
別口座の口座管理機関にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

【表紙・絵】宮坂 健 Ken Miyasaka



《惑星の記憶》

「虹と花の惑星」と題して開いた三越での
個展の作品、楽園をイメージして描いて
いたように思う、現在もこのシリーズは
続いていて、やはり地球の周りに様々な
生き物、塔、神殿等が登場する。
タイトルは「惑星の記憶」、近年この美しい
地球を描きながら考えている。何かを
記録すること、残さなければと、それは
様々な時の記憶、宇宙の、惑星の、生き物
の記憶、そして私自身の旅の記憶。

作者略歴:1949年生まれ 安井賞展、浅井忠記念賞展、
セントラル油画大賞展、日本青年画家展等
個 展:日本橋三越等
著 書:『地球、旅の記憶』

KAGA ELECTRONICS CO.,LTD.

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地
TEL.03-5657-0111 (代) FAX.03-3254-7131
<http://www.taxan.co.jp/>
東証一部：証券コード 8154



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



JISO 14001:1996
登録番号 JSAE594



EMS Accreditation
認定番号 RE005